

第 51 回日本小児アレルギー学会でエコチル調査の進捗状況を報告しました

メディカルサポートセンター 小室久子

2014 年 11 月 8、9 日に三重県四日市市で第 51 回日本小児アレルギー学会が開催され、エコチル調査の進捗状況についてポスター発表をしました。

小児科医の中でエコチル調査の関心を高めてもらうことを目的に、まずエコチル調査の目的、調査実施体制や調査のロードマップについて説明し、リクルートが目標 10 万に達して終了したこと、現在の出生した子ども数や調査の進捗について報告しました。

10 万人という大規模な調査であることに驚かれる方もおり、熱心にポスターを見てくださり様々な視点からご質問やご意見をくださいました。特に、今回はアレルギー学会ということでこの研究から環境物質とアレルギー疾患の関連を数値として示すことができれば、環境整備などの患者教育にも応用できるのではないかと期待されている方もいました。

今後は、本学会の参加者だけでなく全国の小児科医にもエコチル調査について広く認識してもらい、長期間にわたる国家プロジェクトであるエコチル調査に多くの方のご協力が得られればと思います。(参考：[環境省エコチルサポーター登録ページ](#))

